

未来を創る子どもたちのために 建設職組合青年部の皆さんが無料修繕奉仕作業

10月24日、白石市建設職組合青年部の皆さんが、市内8つの保育園と2つの児童館の無料修繕奉仕作業を行いました。この活動は組合青年部の皆さんが材料や道具を持ち寄って、痛んだ部分の修理や補強を行っているもので、30年以上も続いています。

作業には、組合青年部の13人が参加。各施設を訪れ、収納棚や引き戸の修理、かばん掛けの取り付けなどを行いました。また、各施設には、材料費として1万円が寄付され、施設の職員は「感謝の気持ちでいっぱいです」と喜びを語ってくれました。



▲手際よく収納棚を修理

地域に広げよう! 健康づくりと支え合いの輪 第2回白石市健康福祉まつり



▲骨密度を測定する骨粗しょう症検診

10月31日、ホワイトキューブで「第2回白石市健康福祉まつり」を開催しました。会場には各種検診や体力測定、食育、歯の健康相談、福祉団体などによるステージ発表、販売ブース、視覚障害体験、手話、環境などの多彩なコーナーが設けられ、2,500人の来場者でにぎわいました。

年齢を問わず楽しめる本イベント。来場者の1人は「体力測定で、運動不足を痛感しました。改善に向けた良い機会になりました」と、にっこりほほえんでいました。

この催しは、市民の皆さんの健康増進と、障害の有無を超えた地域共存社会の実現を目指し開催しています。

農業用水の水源を守ろう 越河地区でモミジの苗木を植樹

10月14日、J R東北本線越河駅近くの市道沿いでモミジの植樹（水土里ネットみやぎ大河原支部主催）が行われました。この植樹祭は3年目を迎え、良質な農業用水の水源を守ろうと、毎年行われているものです。

植樹祭には、越河小学校4、5年生24人をはじめ、植樹地付近の小高い丘を「憩いの丘」として整備してきた同会の皆さん、水土里ネットの地域役員などが参加。モミジの苗木60本を丁寧に植えました。この日は、環境カルタ取りも行われ、参加者は水源を守る大切さをともに実感していました。



▲モミジの苗木の根元に優しく土をかける児童たち

地域への感謝の気持ち 白石高校吹奏楽部の皆さんが清掃奉仕活動



▲駅前通りで雑草の除去を行う部員たち

10月17日、白石高吹奏楽部の皆さんが通学路沿いのごみ拾いや雑草の除去などの清掃奉仕活動を行いました。この活動は5年目を迎え、旧白石女子高吹奏楽部時代から続く恒例行事です。練習や演奏会などで日ごろから応援してくれる地域の皆さんに感謝の気持ちを示そうと、毎年行われているものです。

活動には、部員とその保護者など約70人が参加。参加者は「雑草を取り除くのは大変でしたが、清掃活動で地域の皆さんに感謝の気持ちを表すことができてうれしいです」と話してくれました。

広がる交流の輪 第19回白石・黒石市民文化交流大会

10月30日、小原温泉ホテルいづみやで「第19回白石・黒石市民文化交流大会」が開催されました。

本市と黒石市の名にちなんで昭和63年に始まった親善囲碁大会。平成11年の第8回大会から将棋、平成19年の第16回大会から川柳を加え、市民文化交流大会として交流の輪を広げてきました。

大会には両市から約60人が参加。各種目に分かれ、真剣勝負の中にも時折和やかな場面も見られました。対戦結果は、囲碁の部は黒石、将棋の部は白石、川柳の部は白石が勝利し、総合優勝は白石となりました。



▲対局は真剣勝負

親睦を深めながら登山を楽しむ 白石・登別登山交流



▲御釜をバックに記念撮影をする両会のメンバー

本市の白峰会（太斎亭会長）と姉妹都市登別市の登別山岳会（前野利一会長）の交流登山が両市において行われました。この交流は、登別市の市制施行とともに誕生した登別山岳会の創立40周年記念事業として、同会からの呼び掛けにより実現しました。

両会のメンバーは、7月に北海道後方羊蹄山、10月に宮城県蔵王連峰を登りました。参加した白峰会メンバーは、「市民レベルの交流活動を展開して友好を深めることができました。相互の発展のため、さらに交流を深めていきたいです」と話してくれました。

忘れてはいけない「過去」を「未来」へ 終戦65周年 白石市戦没者追悼式

10月15日、「終戦65周年白石市戦没者追悼式」を中央公民館で開催しました。白石市傷痍軍人会長の佐藤今朝江さんによる開式の辞で始まった式典には、各地区の遺族会などから約300人が参列。白石市遺族会長の一條義雄さんが「私たちは、命の尊さや平和の大切さを語り継いでいかなければならない」と式辞を述べ、参列者たちはそれぞれの思いを胸に哀悼の花をささげていました。

本市の戦没者数は1,216人、遺族会の会員数は823人。同会では高齢化が進む中、忘れてはいけない「過去」を「未来」に伝えるために取り組んでいます。



▲「平和」への思いを胸に式に臨む参列者

東北6県の強豪が集結! 白石市長杯第9回中学生軟式野球秋季白石大会



▲開会式に臨む東中・福岡中・白石中の選手たち

10月16日・17日の2日間、東北6県の中学校16校が白石に集結し、「白石市長杯第9回中学生軟式野球秋季白石大会」が益岡公園野球場や緑地公園野球場など4会場で開催されました。各県の新人大会で好成績を収めた中学校と、本市から白石中・東中・福岡中が出場した本大会。本大会から「市長杯」が贈呈され、開会式で風間市長から佐川徹雄大会会長に市長杯が手渡されました。

白石中主将の佐藤直哉さんの選手宣誓で大会が始まり、熱戦が続く中、青森県の七戸中が優勝を飾りました。大会を通じ選手たちは、友情の輪を広げていました。